

第5回日本代協コンベンション

質の高い募集人の育成と研鑽

(①面から続く)

来賓として金融庁監督

局保険課長の井上俊剛氏と損保協会専務理事の堀政良氏が挨拶。

井上氏は、今年9月に公表した金融行政方針のうち、本事業年度で取り組む保険関連の重点施策は改正保険業法等への対応と顧客ニーズを踏まえ

た商品サービスの提供面だと改めて報告。

このうち改正保険業法等への対応では、保険募集の基本ルールの創設と

保険募集人に対する態勢整備義務の導入の2つを募集規制面の大きな柱として述べていた。

こうしたルールを設けた背景について井上氏は

「保険商品が複雑性や多様性を本来的に持つ中、お客様が商品内容を正しく理解し、ニーズにあった保険商品を選択していただくためには、保険会社や保険募集人が過不足なく情報提供を行い、お客様の目標でわかりやすい説明などを行うことが重要だと考えているためだ」と説明。そのうえで

「保険業界に向けては「今後、これらの保険募集ルールが整備されることにより、お客様が自らのニーズにあった保険に加入できる環境が整い、保険業界全体の信頼性が確保できることを期待して

いる」と述べている。また、保険募集人の育成・能力向上について触れた井上氏は、損保協会と日本代協が共同実施している損害保険大学課程や認定資格である損害保

険トータルプランナーの輩出について、その実績を評価するとともに「日本代協と損保協会が十分に連携し、質の高い保険募集人の育成や保険代理店の研鑽に向けて積極的

に取り組んでいただきたことと期待を示した。続いて挨拶した損保協会の堀氏は、保険業界を

取り巻く変化に対し「今まで経験してきた環境の変化を超えるような大きな時代の転換期に差し掛かっているのではないかと感じている」と述べ、その主要因として人口減少や超高齢化社会の促進、巨大自然災害の懸念、自動車保険・自賠責保険に関する自動運転車の登場

など具体例をあげた。堀氏は「こうした中で、私たちは国民生活の安定や国民経済の発展のために貢献していかなければいけない」とし、とりわけ自然災害や保険募集人の資質向上に向けた取り組みには、保険代理店とともに取り組んでいく必要があると述べた。

記念式典では、長年に

渡り代協活動に取り組んできた会員代理店5氏の功労者表彰を行い、感謝状を贈呈。受賞者を代表して京都代協の関本誠一郎氏が謝辞を述べた。

引き続き代協会員懇談会では、事前質問を踏まえた会員代理店からの意見や要望に代協役員が回答するなど、忌憚のないやり取りが行われた。会員代理店からは「国民年金基金の制度のあり方」や「他の代理店チャネルとの公平性のあり方」などについて質問が出た。

第一部最後の基調講演では、元サッカー日本代表監督の岡田武史氏が「チームマネジメント〜今治からの挑戦〜」をテーマに講演した。

第二部の懇親会には、金融庁の井上保険課長や保険各社の社長をはじめ業界関係者約500名が一堂に会し、会場を盛り上げた。

懇親会では各社の社長が登壇し乾杯

した。

した。

した。



金融庁・井上保険課長



損保協会・堀専務理事



懇親会では各社の社長が登壇し乾杯